

台灣日本水利技術交流也三十一

報告(概要)

主催：財団法人紀念八田與一文化芸術基金会

August 31, 2018

「台湾日本水利技術交流セミナー 2018」

■ セミナーの趣旨：

嘉南大圳（かなんたいしゅう；1920年9月1日に着工、1930年に竣工した台湾で最大規模の灌漑系統；当時アジア1位、世界3位の規模を誇った）は、その後98年間が経過し、現在に至っている。

嘉南農田水利会の管理下にある烏山頭貯水池は良好に維持されている。しかし、気候変動と社会・経済的ニーズの変化により、持続可能な水資源維持のためには水利施設の更新が必要となってきた。

嘉南大圳は、約100年にわたり水資源の持続可能な利用に取り組んでおり、周辺地域ではさまざまな重要施設が建設され、それらは著しい進歩を遂げている。

今回、エンジニアリング技術と水利管理技術の交流が行われることによって、両者の技術水準が向上し、水資源の大切さと生態系の保全が促進されることを願って本セミナーの開催が計画された。

出張期間： 平成30(2018)年8月29日～9月4日

三重大学からの参加者：

成岡市、坂本竜也、澤田拓郎、本田結愛

受入者： 陳 猷 博士；財団法人紀念八田與一文化芸術基金会・副会長

■ 話題：

- (1) 「烏山頭ダムの八田技師設計理念について」中川耕二（台湾と友好の会）
- (2) 「烏山頭貯水池の持続可能な運用のための周辺施設のフォローアップ改善措置」林 得志（紀念八田與一文化芸術基金会）
- (3) 「台湾貯水池管理の効果的管理 “土砂管理と砂排出”」林 元鵬（經濟部水利局）
- (4) 「農地の土壌物理的環境 “水田と畑地の粗孔隙”」成岡 市(三重大学大学院)
- (5) 「烏山頭貯水池灌漑区における3年輪作制度の導入実績」許 勝雄（嘉南農田水利会水利管理部）

スナッフ写真





台南市内「赤崁樓」



セミナー会場



殉工碑



八田與一夫人
(外代樹さん)



八田與一の像を囲んで



陳 獻 博士



牧 隆泰 先生、台湾大学 5 号館

生物資源暨農學院
College of Bio-Resources and Agriculture

農業經濟學系
Department of Agricultural Economics

生物產業傳播暨發展學系
Department of Bio-Industry Communication and Development

上段：生物資源・農学部、台湾大学



教室、台湾大学 5 号館

詳細は別紙へ

